

市誌編さんだより Vol.10

専門家の調査だけでなく、市民の調査協力員や大学生・中高生と聞き書き調査・執筆を行っています。奇数月の1日号にて編さん状況を紹介しています。

市誌編さんの現場から ⑤

調査のなかで新たに見つかった高浜にまつわる「ヒト・モノ・コト」などの情報を速報として紹介します。今回紹介するものは、これまで発掘された資料のほんの一部です。事業を開始した平成28年度から現在まで、市民の皆さんからも情報をいただき、貴重な発見がたくさんありました。5年計画で進めている市誌編さんもいよいよ折り返し。これからも皆さんの協力をよろしくお願いいたします。



※4枚とも高浜市立郷土資料館蔵

高浜市といえば「瓦のまち」というイメージがありますが、かつては土管や日用土器の生産も盛んに行われていました。今回紹介する資料は、かつて日用土器を生産していた家の押入れに貼られていた、昔のポスターです。とても古い家であったため壁は土でできており、その土が崩れてくるのを防ぐために、ポスターを貼って壁を補強していました。

ポスターの状態は非常に良好で、色も鮮やかに残り、入船問屋や嫁入道具などを扱う店の名前が書かれています。入船問屋とは、高浜の港へ入ってくる船に関して積み荷の取り扱いを行った業者のことです。鉄道や自動車が普及する前、船での輸送が主だったころは、高浜にもいくつかの入船問屋が存在したようです。

- ◇自宅などに高浜に関する資料(特に明治時代～昭和)がありましたら、ぜひ情報をお寄せください。
- ◇資料整理、調査、聞き取りなど、「市誌編さん事業に興味がある!」「参加したい!」という方はご連絡ください。
- ◇市誌編さん事業に関する詳しい内容は、市公式ホームページの「文化スポーツグループ」のページで紹介しています!